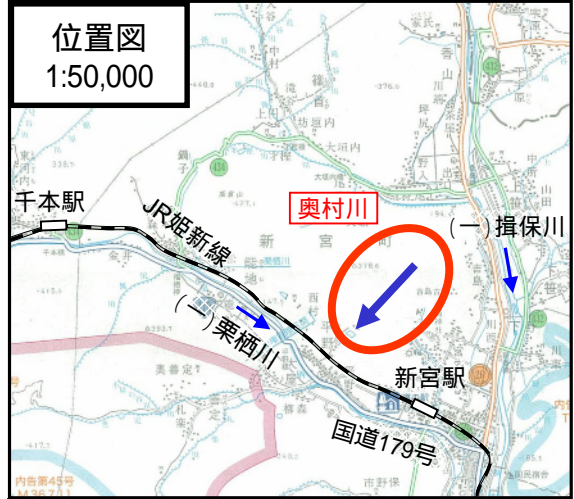


投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (樋口和夫)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	2.5億円
		通常砂防事業 おくむらがわ 奥村川	たつの市 しんぐうちょうひらの 新宮町平野	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
たつの市新宮町平野				H 2 3	H 2 6
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から災害時要援護者関連施設等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 2基 (H = 12.0m, L = 60.0m) (H = 10.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)栗栖川に流入する土石流危険溪流 ・流域は、風化が進行し転石が多く存在しており、近年の降雨による溪岸の浸食も進むなど、流域の荒廃が進行している。 ・谷出口に災害時要援護者関連施設である老人福祉施設があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約3ha(長さ400m、最大幅200m程度)に及ぶ。 ・特別養護老人ホーム「栗栖の荘」(災害時要援護者関連施設)、人家3戸、市道				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成20年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・工食用道路として市道からえん堤設置位置までの寄り付きが容易であり、地元理解も得られていることから、円滑な事業実行が可能である。				
(3)環境適合性	・工事による掘削法面等については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・自力による避難が困難な災害時要援護者が利用する施設があることから、早期着手に対する施設からの要望が強い。 以上より、H23年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

おくむらがわ
奥村川
[たつの市]



計画概略図
縮尺 1:4,000

凡例	
	事業実施箇所
	被害想定区域
	保全人家等

